

教科目名 独語 I (German I)

学科名・学年 : 4年 全学科

単位数など : 必履修 2単位 (前期1コマ, 後期1コマ, 学習保証時間45時間)

担当教官 : 峯本 敏男

授業の概要		
ドイツ語は現在、約1億1千万人の使用人口を持つ世界十大言語の一つであり、最大の特徴は英語と元々、姉妹語であり、特に工学や学術の分野において英語に次いで重要な言語である点にある。このようなドイツ語を新しく学ぶ意味は大きく、この授業を通して外国語学習本来の楽しさや面白さを体感させると同時に、英語圏とは異なる文化や社会に触れさせながら、基礎ドイツ語の修得と共にこれからの技術者に必要な国際性と幅広い視野の養成をめざす。		
到達目標		大分高専目標(C1), JABEE 目標(f)
(1) ドイツ語の発音が正確に出来るようになること。 (2) 初級文法の基礎を修得し、簡単な会話ができるようになること。 (3) 独和辞典を使用して平易なドイツ語文を読解し理解することが出来るようになること。 (4) 独検(ドイツ語技能検定試験)4級受験が可能な語学力をつけること。		
回	授 業 項 目	内 容
1	1. ドイツ語概観	ドイツ語とはどんな言葉かを概説。英語等との比較も行う。
2,3	2. 発音練習	アルファベット、基本単語や日常の挨拶による基本的な発音の練習を行う。
4	3. 規則動詞の現在形の用法	規則動詞の現在形の人称変化と基本的用法を学ぶ。
5	4. 不規則動詞の現在形の用法	不規則動詞の現在形の人称変化と基本的用法に慣れる。
6	5. 冠詞の用法	定冠詞・不定冠詞の基本的な使い方を学ぶ。
7	前期中間試験	
8	前期中間試験の解答と解説	理解の程度を確認、自己分析と補足説明および授業を行う。
9	6. 名詞の用法	名詞の単数形の性・格の基本的用法を修得する
10, 11	7. 冠詞類の用法	定冠詞類、所有冠詞、否定冠詞等ドイツ語特有な冠詞の使い方を学ぶ。
12	8. 名詞の複数形の用法	名詞の複数形の作り方と基本用法を学ぶ。
13	9. 人称代名詞	人称代名詞の変化、名詞との関係等基本的用法に慣れる。
14	前期期末試験	
15	前期期末試験の解答と解説	理解力の確認と分析、不明事項の補足説明を行う。
16,17	10. 前置詞	前置詞の格支配、意味と基本用法に慣れる。
18,19	11. 分離動詞	ドイツ語特有な分離動詞の構文と用法を習得する。
20	12. 再帰動詞	再帰代名詞との関係と特徴ある動詞の用法に慣れる。
21	13. 形容詞	ドイツ語特有な形容詞の格変化と基本用法を学ぶ。
22	後期中間試験	
23	後期中間試験の解答と解説	理解力の確認と分析、補足説明および授業を行う。
24	14. 語法の助動詞	助動詞の現在人稱変化、基本構文、意味と用法を学ぶ。
25	15. 動詞の三基本形	不定形、過去基本形、過去分詞の三基本形について学ぶ。
26	16. 過去形	過去の人称変化と過去形の構文と用法を理解する。
27,28	17. 現在完了	最もよく使われる現在完了形の基本構文、意味とその用法に習熟する。
29	後期期末試験	
30	後期期末試験の解答と解説	理解力の確認と分析、不明事項の補足説明を行う。
履修上の注意	ドイツ語学習の一年目として、初級文法の学習と発音の練習を通してドイツ語の基礎を習得できるように、まず、授業に集中し、発話練習等にも積極的に参加することが重要である。家庭学習においては復習(特に音読練習)を継続することが望ましい。また、独和辞典を一冊、必ず購入(所有)して家庭や授業で活用すること。定期試験だけではなく小テストや課題レポートにも真剣に取り組むことが肝要である。	
教科書	「ドイツ語への誘い」Herrmann Troll; 前田 智 著, 第三書房	
参考図書		
関連科目	英語	
評価方法	定期試験の成績(80%), 小テスト・課題レポートの提出(20%)により評価する。また、欠課時数および授業態度により評価点よりその20%を上限として減点するものとする。	